

2021年度 第2四半期連結決算説明資料

2021年11月12日

株式会社 西島製作所（6363）

【1】 2021年度第2四半期決算実績

【2】 トリシマの社会的役割と企業価値

【3】 2021年度通期決算見通し

2021年度 第2四半期決算概略

前年同期比

● 受 注 高	—	299億円	+ 31億円
● 売 上 高	—	214億円	+ 32億円
● 営業利益	—	3億円	+ 8億円
● 経常利益	—	5億円	+ 7億円
● 親会社株主に帰属する 四半期純利益	—	3億円	+ 7億円

2021年度 第2四半期連結決算実績（連結）

受注:官需は11.9%減（前年同期は水害対策案件が上期に集中。例年に比べると堅調）、民需は8.8%増、海外はエジプトやサウジアラビアでの大型案件が続ки44.9%増、全体では11.6%増の299億円。

売上:官需は例年に比べ第2四半期の売上が多く41.8%増、民需は9.0%増、海外は11.3%増と全体的に増収となり、全体では17.6%増の214億円。
利益:増収及び売上総利益率の上昇により営業利益は8億円増。

単位：億円

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比		2021年度 通期計画	進捗率
			増減額	増減率		
受注高	268	299	+31	+11.6%	500	59.8%
売上高	182	214	+32	+17.6%	520	41.2%
売上総利益 (売上総利益率)	41 (22.5%)	54 (25.2%)	+13 (+2.7pt)	+31.7%	138 (26.5%)	39.1%
販管費	46	51	+5	10.9%	102	50.0%
営業利益 (営業利益率)	▲5 (▲2.7%)	3 (1.4%)	+8 (+4.1pt)	—	36 (6.9%)	8.3%
営業外損益	3	1	▲2	—		
経常利益	▲2	5	+7	—	38	13.2%
特別損益	0	0	±0	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲4	3	+7	—	27	11.1%

期末レート（1USD）

2020/9末:105.8

2021/9末:111.92円

2021年度 第2四半期連結決算実績（単体・子会社別）

■単体

単位：億円

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年度比	
			増減額	増減比
売上高	135	175	+40	+29.6%
売上総利益 (売上総利益率)	21 (15.5%)	34 (19.4%)	+13 (+3.9pt)	+61.9%
販管費	32	33	+1	+3.1%
営業利益 (営業利益率)	▲10 (▲7.4%)	1 (+0.6%)	+11 (+8.0pt)	—

- ✓ 全体的な増収に加え、官需で利益率の高い案件が売り上がったことで売上総利益も上昇し、売上総利益は13億増加。
- ✓ コロナの影響はまだあるものの、オンライン会議などニューノーマルな働き方が経費削減につながり販管費はほぼ横ばいに抑えられ、営業利益は11億増加。

■子会社（連結－単体）

単位：億円

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年度比	
			増減額	増減比
	47	39	▲8	▲17.0%
	20 (42.6%)	20 (51.3%)	±0 (+8.7pt)	±0%
	14	18	+4	+28.6%
	5 (10.6%)	2 (5.1%)	▲3 (▲5.5pt)	▲60.0 %

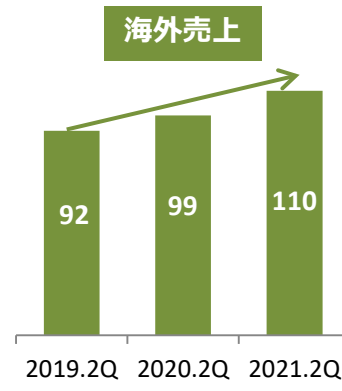
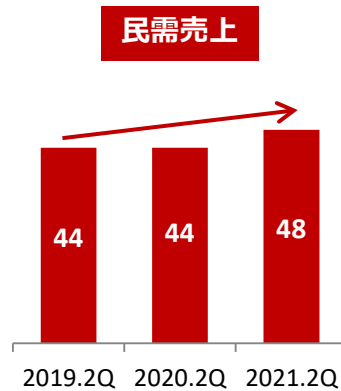
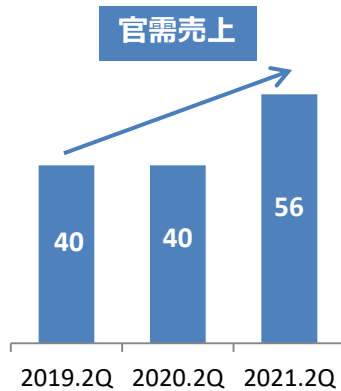
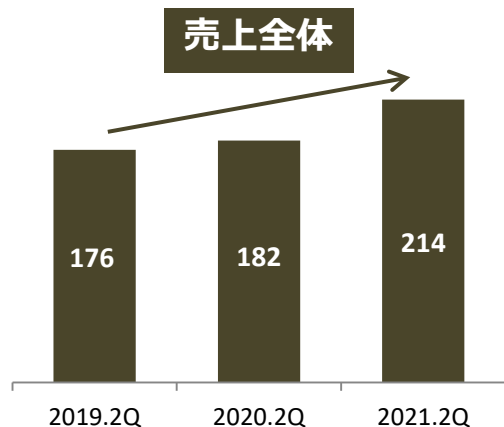
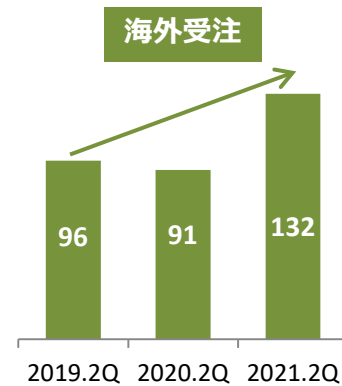
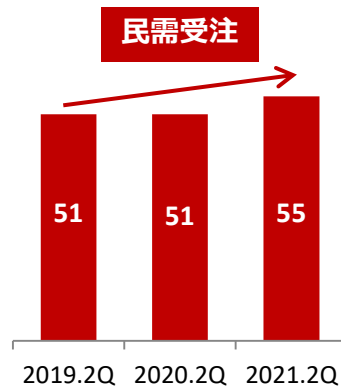
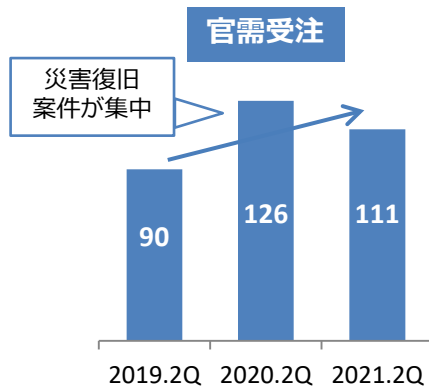
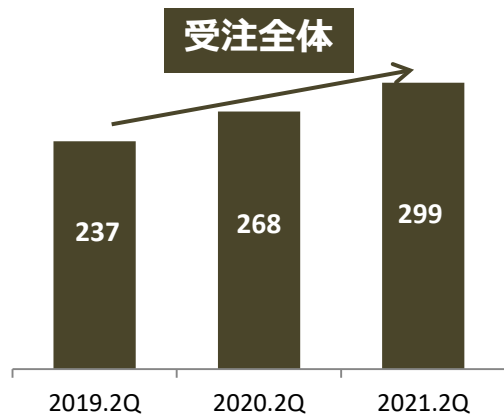
- ✓ インドネシアのサービス子会社が連結から外れたこと、香港がコロナや政情不安の影響で低調なことなどから、全体で8億減収。
- ✓ 一方、中国天津工場の増収増益が貢献し、売上総利益は横ばいを確保。
- ✓ 販管費は
 - －英国サービス子会社の設備投資に伴う償却費
 - －中国の増収に伴う販売手数料
 - －ワクチン接種が進んだ国や地域での営業活動再開に伴う経費
 などで増加し、営業利益は減少。

【1】 2021年度第2四半期決算実績

【2】 トリシマの社会的役割と企業価値

【3】 2021年度通期決算見通し

社会に欠かせないポンプの製造メーカーとして コロナ禍の中でも堅調な受注・売上を確保（単位億円）

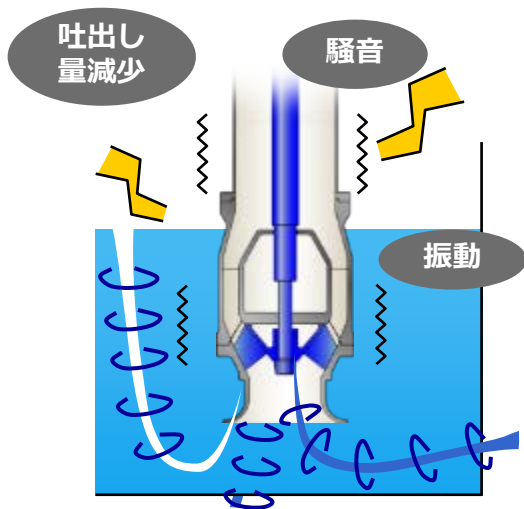


気候変動対策向けポンプを通して防災・減災に貢献

近年、頻発するゲリラ豪雨への対策として、独自の新技术を施した

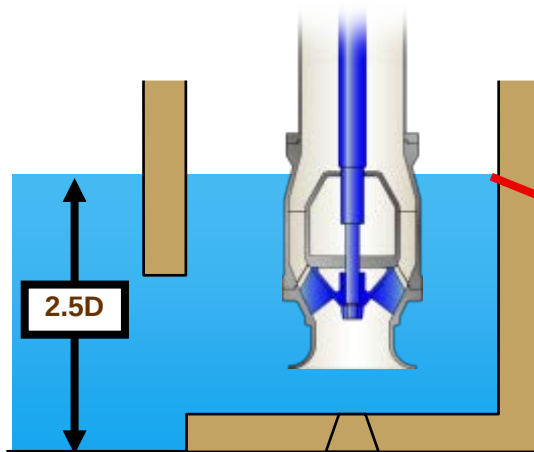
「二重ラップカン及び渦対策リング」や**「耐水モーター体型ポンプ」**などを通して
防災・減災へ貢献しています。

渦対策なし



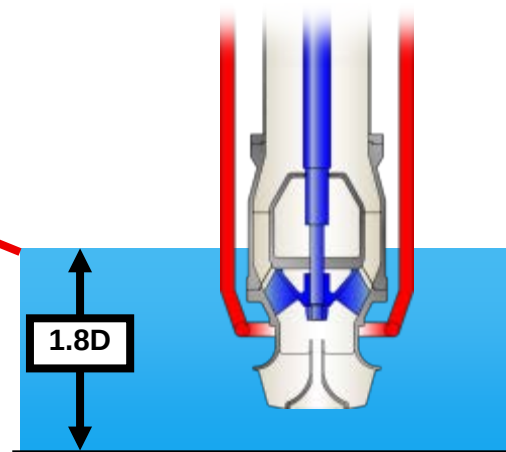
ポンプ性能に悪影響を及ぼす
水中渦と空気吸込渦が発生

渦流防止板による
従来の渦対策



渦流防止板は土木構造物のため
多額の工事費と日数が必要

二重ラップカンと渦対策リング
による渦対策



渦流防止板を不要とし
ポンプ本体で
有害な渦の発生を防止

気候変動対策向けポンプを通して防災・減災に貢献

近年、頻発するゲリラ豪雨への対策として、独自の新技术を施した

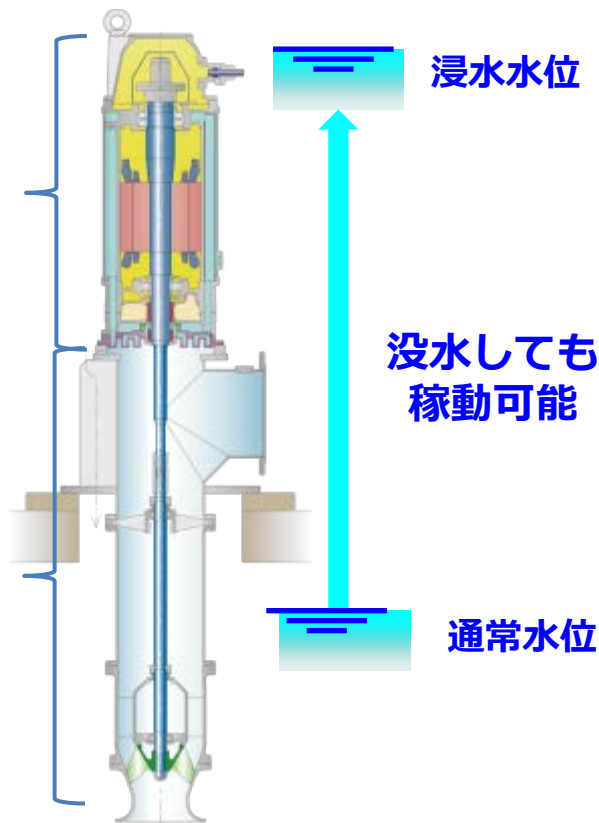
「二重ラッパカン及び渦対策リング」や「**耐水モーター体型ポンプ**」などを通して
防災・減災へ貢献しています。

浸水で機能停止となったポンプ



気中でも
水中でも使用可能
な耐水モータ

軸受や軸封部が
露出しないポンプ

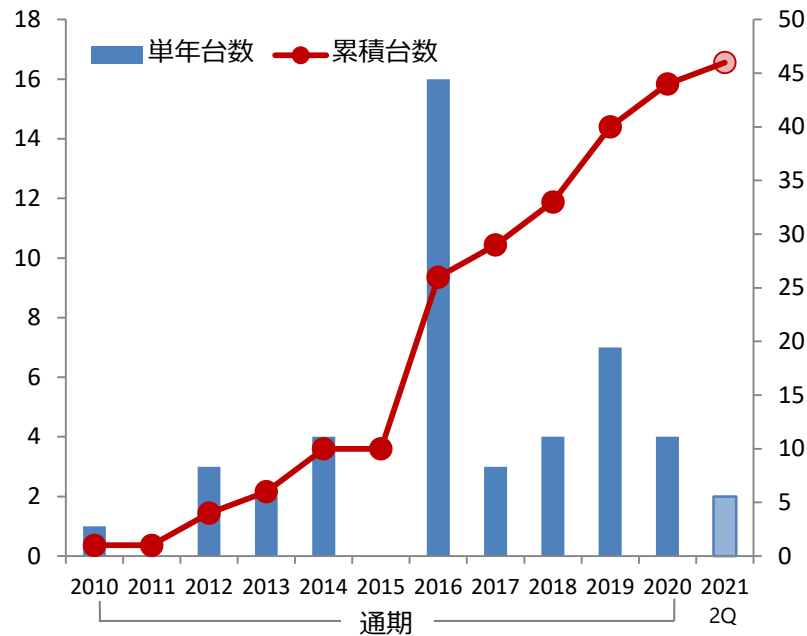


気候変動対策向けポンプを通して防災・減災に貢献

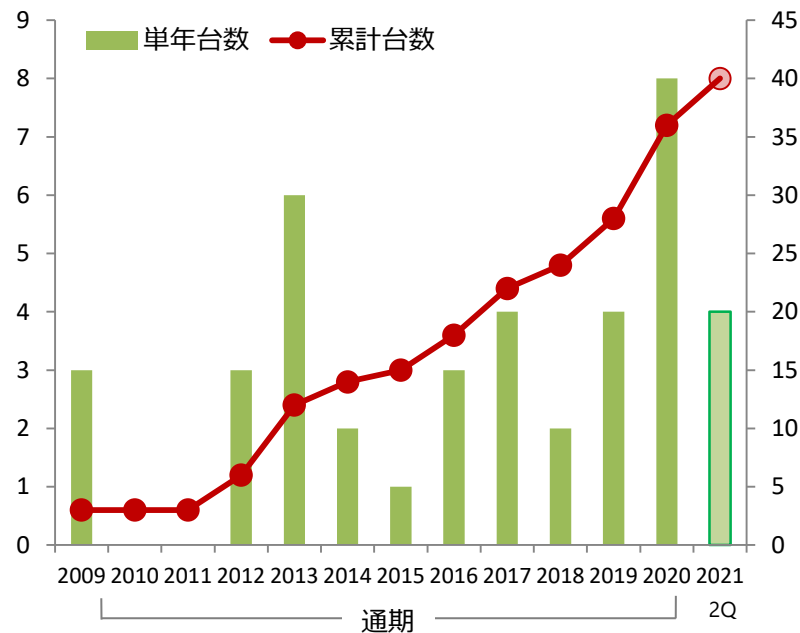
近年、頻発するゲリラ豪雨への対策として、独自の新技术を施した

「二重ラップカン及び渦対策リング」や**「耐水モーター体型ポンプ」**などを通して
防災・減災へ貢献しています。

二重ラップカンと渦対策リング受注台数

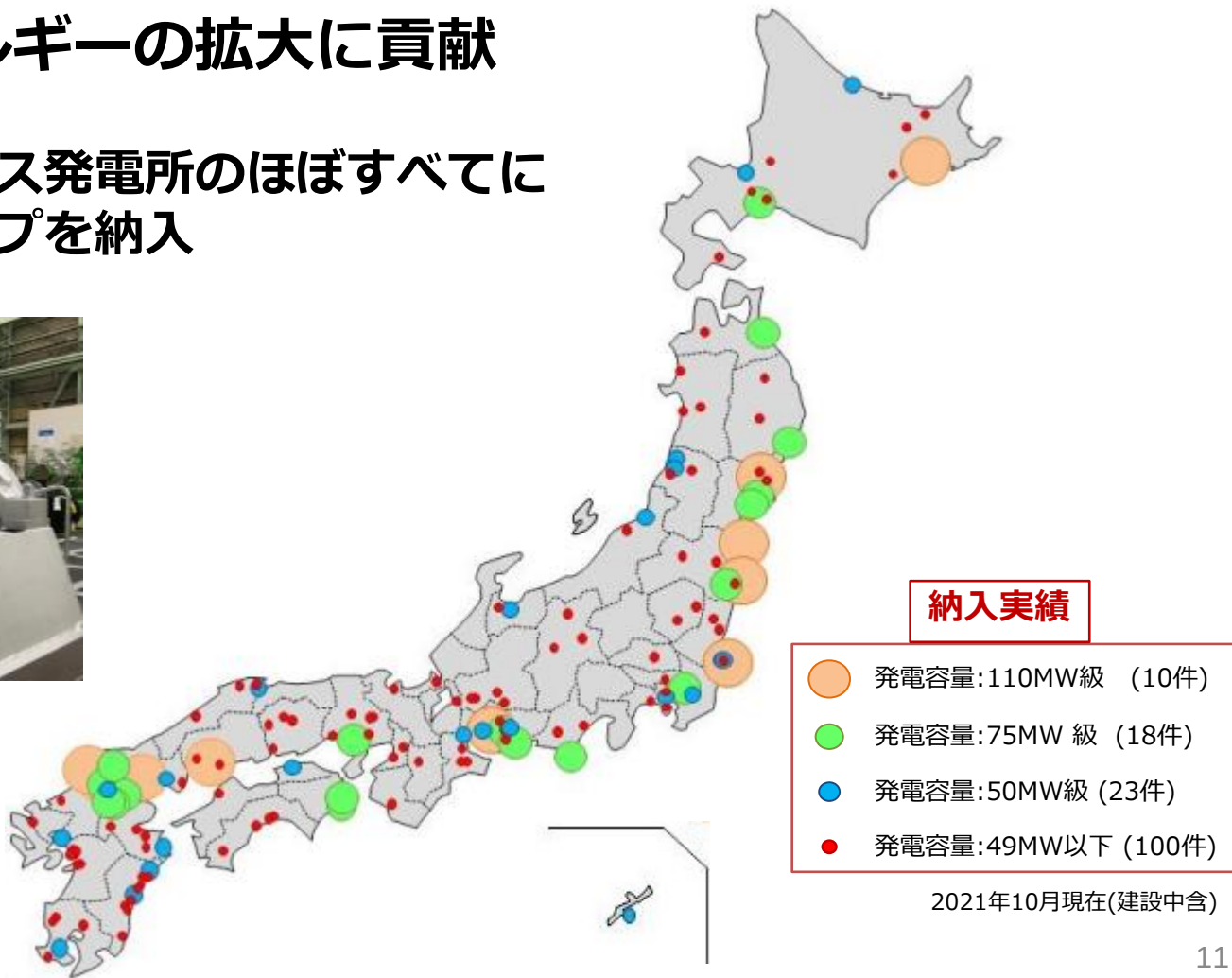


耐水モーター体型ポンプ受注台数



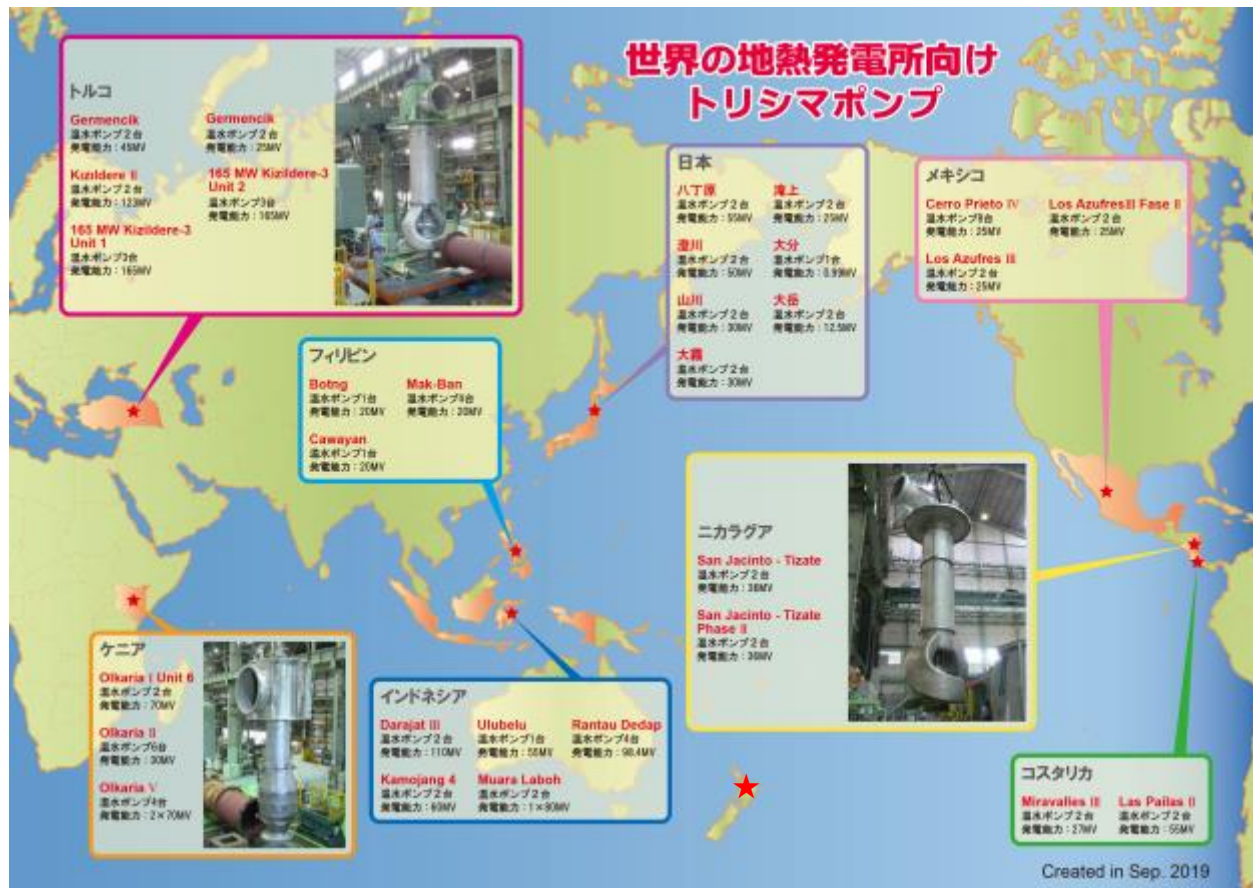
再生可能エネルギーの拡大に貢献

①日本のバイオマス発電所のほぼすべてに ボイラ給水ポンプを納入



再生可能エネルギーの拡大に貢献

② 1990年代より国内外の地熱発電所に温水ポンプを納入



★2020年度新規受注★
安比地熱発電所向け（岩手）
大岳地熱発電所向け（大分）

★2021年度新規受注★
松川地熱発電所向け（岩手）
タウハラ地熱発電所向け
（世界最大規模152MW/
ニュージーランド）

海外 海水淡水化ポンプを通して温暖化による水不足解消に貢献

大型プラントが集中する中東。コロナ禍でも底堅い需要

サウジアラビア

Al Khobar, 2021
Al Jubail 3A, 2021
Jubail 2, 2021
Al Khobar SWRO Desalination Plant, 2020
Rabigh SWRO Desalination Plant, 2019
Shoaiba RO Phase 4 Desalination Plant, 2019
Shuaibah III Expansion II, 2019

UAE

ADNOC Refining Waste Heat Recovery Project, 2020
Umm Al Quwain SWRO Desalination Plant, 2019
Fujairah F1, 2014

バーレーン

Al Dur II, 2020

クウェート

Az Zour North IWPP, 2014
Az Zour South RO, 2012

カタール

Umm Al Houl 2016
Ras Abu Fontas A2, 2013

オマーン

Salalah SWRO Desalination Plant, 2019
Barka I Seawater Desalination Plant Expansion, 2013
Salalah IWPP, 2010

海水淡水化のろ過膜（RO膜）に
海水を送るRO高圧ポンプでは
世界でも圧倒的な地位を確立
経産省の「グローバルニッチトップ
（GNT）企業100選」にも認定



RO高圧海水供給ポンプ

北アフリカ

アルジェリア

Magtaa, Oran, 2010

リビア

Khoms Desalination Plant, 2012

ガーナ

Accra Desalination Plant, 2013

エジプト

Al Arish, 2021

アジア・オセアニア

インド

VA tech WABAG, 2020
Dahej, 2021

オーストラリア

Victorian Desalination, 2010

シンガポール

Jurong Island 2020
Marina East Desalination Plant, 2019
Tuaspring Desalination Plant, 2012

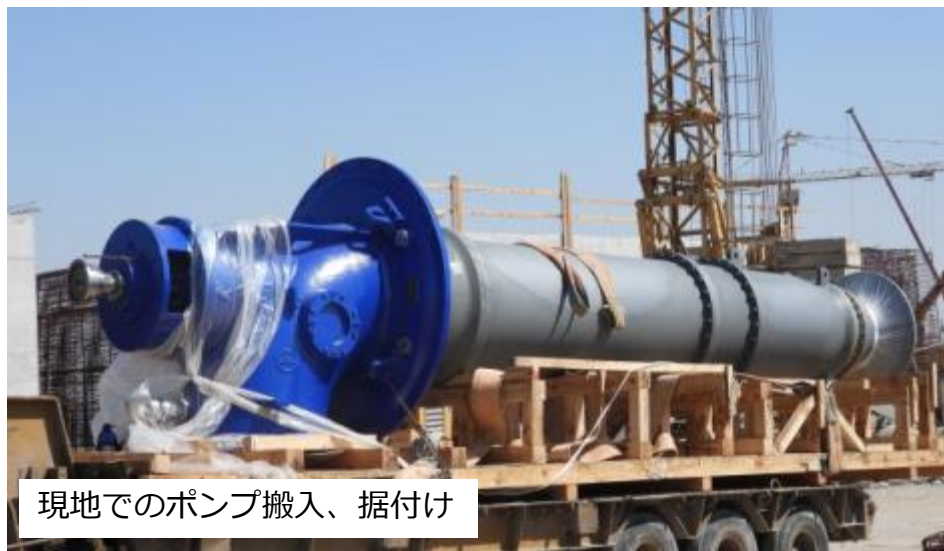
中国

Liuheng 2013
Qingdao, 2011

人口増加とインフラ発展で
今後の需要拡大に期待
新マーケット

海外 かんがい向けポンプを通してエジプトの農地開発に貢献

エジプトの経済発展を推進するシナイ半島開発プログラムの一環で、ナイル河から流れてくる河川水を取水、処理し、農地へ送水。
この実績が評価され、2020年度、2021年度にも同国での大型受注が続いている。



ビジネス短信

ビジネス短信のコンテンツ一覧 +

エジプトで世界最大の下水処理施設が開所

(エジプト)



カイロ発

2021年10月04日

エジプトで9月27日、ポートサイド近郊のバフル・アル・バクル（Bahr al-Baqar）に建設された下水処理場の開所式が行われた。稼働した際の1日の汚水処理能力は1日当たり560万立方メートルで、世界最大となる。同式典には、アブドゥルファッターハ・エルシーシ大統領も出席した。

式典では、モスタファ・マドゥーリー首相が冒頭あいさつを行い、大型下水処理場は、2011年の革命以降、反政府勢力との戦場となっていたシナイ半島の安定を象徴するもので、同地域の経済開発、安全保障の面でも大きな意味を持つと述べた。エジプトは現在、ナイル川上流で巨大ダムを建設したエチオピアとの間で、水資源の利用をめぐる係争が続いているが（[2021年8月17日付地域・分析レポート参照](#)）、人口増や農業用水不足に備えた海水淡水化や下水処理による新たな水資源確保に取り組む姿勢も国民に示した格好だ。

首相はまた、建設と今後の施設運営を行う地元ゼネコンのオラスコムコンストラクションおよびアラブコントラクターを評価した上で、陸軍エンジニアリング部隊の後押しによって、歴史的な大規模工事が2年間という短期間で完了したことを称賛した。エジプトでは公共工事に、大統領やその意向を受けた国軍が関与することが増えている。

式典の終了後、エルシーシ大統領は本施設内を視察。日本の西島製作所が手掛けた大型ポンプ4基の前でも説明に耳を傾けた。同社は2021年2月にエルシーシ大統領に招かれ、カイロの大統領府で当初予定どおりの完成に向けた協力を求められた企業の1つだ。日本企業は品質の高さに加え、豊富な実績、納期順守の姿勢が評価されており、地方の経済開発を急速に進めたい政府の意向と合致することで、さらなる受注が進みそうだ。

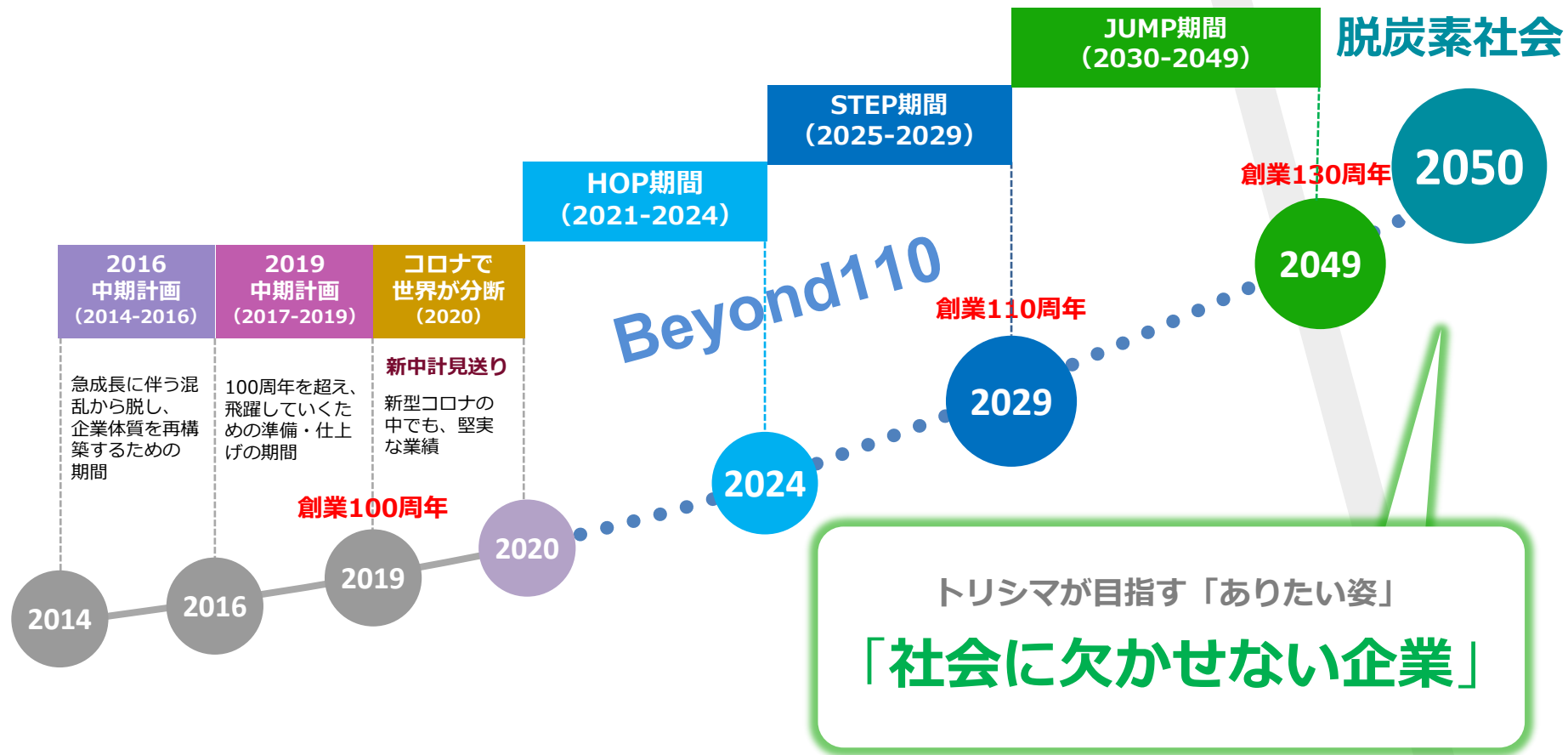
[JETRO公式サイトへ](#)

エルシーシエジプト大統領が機場訪問

トリシマの社会的役割と企業価値まとめ

官需	・ 気候変動対策へ向けた二重ラップカン及び渦対策リング、耐水モーター 体型ポンプをはじめ、全流量域排水ポンプなど、当社独自の技術提案 ・ DX技術の確立（TR-COMや3Dキャドスキャナ、ウェアラブルカメラな どの活用）
民需	・ 再生可能エネルギー向けポンプの提供 ① バイオマス発電 ② 地熱発電 ・ エコポンプ（ポンプdeエコ活動）の販売促進 ・ TR-COMによるスマートメンテナンスの提案
海外	・ 海水淡水化プラント及び送水プラント向けポンプの提供 ・ かんがい（農地開発）プラント向けポンプの提供 ・ ハイテクポンプの高効率化によるプラントの省エネ化 ・ TSSブランドの浸透とエリアの拡大 ・ TR-COMによるスマートメンテナンスの海外展開

2050年 脱炭素（カーボンニュートラル）社会の実現に向けて



中期経営計画

Beyond110

トリシマ
110周年

2021～2024（ホップ）

2025～2029（ステップ）

2030～（ジャンプ）

短期ベースの社会貢献事業

（既存技術のダントツ化）

- ① スーパーエコポンプによる省エネ推進
- ② 気候変動対策向けポンプによる減災技術の推進
- ③ データに基づくスマートメンテナンスの提供
- ④ アンモニアを取扱うポンプの高機能化

中・長期ベースの社会貢献事業（新技術開発の推進）

- ⑤ 水素・CO₂を取扱うポンプの研究開発 → 市場への実機投入
- ⑥ 風力発電事業への人・モノ・カネの投入 → 洋上風力を含めたサービス事業の充実

社会課題を
解決する
製品・サービスを
通じて持続的に
企業価値を拡大

「社員活力の最大化」 「ESG経営」

「環境経営」への取り組み

2021年度 当社環境方針

- 中期経営計画「Beyond110」の最終年度となる2029年度までに工場およびオフィスのエネルギー使用についてカーボンニュートラル達成をめざすこと
- サプライチェーン全体の環境負荷低減に努めること

現在の取り組み

新本社工場ビルの全電力を100%グリーン化



新本社工場ビルは、環境に優しい建物として、**年間エネルギー消費量**を従来に対して**40%以上削減**した「**ZEB Oriented**」の評価基準を達成



新本社工場ビルにおける**年間使用電力量**（約125万kWh）の100%は、日本自然エネルギー株式会社が手掛ける「**グリーン電力**」で賄われています

今後の取り組み

炭素含む温室効果ガス(GHG)排出量削減への取り組みを加速

削減目標

- 2029年度までに工場およびオフィスのエネルギー使用についてカーボンニュートラル達成をめざす
- サプライチェーン全体の環境負荷低減に努める

Scope1^{*1} ▶ 達成

Scope2^{*2} ▶ 取り組み中、2029年度までに達成を見込む

Scope3^{*3} ▶ 今後積極的に取り組む

*1: 自社での燃料の使用などによるGHGの直接排出

*2: 自社が購入した電気・熱の使用によるGHGの間接排出

*3: Scope1, 2以外のサプライチェーンにおけるGHG排出については、仕入先・顧客とともに、バリューチェーンを通じたGHG排出量の削減に向け、具体的な取り組みを推進

【1】 2021年度第2四半期決算実績

【2】 トリシマの社会的役割と企業価値

【3】 2021年度通期決算見通し

2021年度通期決算見通し（連結）

2021年度通期業績については、当初計画より増収増益を見込んでいます。主な要因は以下の通りです。

- ・ 官需、民需、海外ともに高付加価値製品及びサービスのソリューション提案営業を推進した結果、コロナ禍においても堅調に推移していること。
- ・ 従来から推進してきた設計の標準化及びITの活用など生産性向上への取組みが奏功したこと。
- ・ 「見える化」により経費の節減及びコスト改善が推進していること。

単位：億円

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	増減額
売上高	182	214	+32
営業利益 (営業利益率)	▲5 (▲2.7%)	3 (1.4%)	+8 (+4.1pt)
経常利益	▲2	5	+7
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲4	3	+7

2020年度 通期実績	2021年度		
	当初計画	修正計画	増減率 (対当初計画)
508	520	540	+3.8%
36 (7.1%)	36 (6.9%)	43 (8.0%)	+19.4%
46	38	46	+21.1%
34	27	31	+14.8%

2021年度連結決算見通し（単体・子会社）

■単体

単位：億円

	2020年度 通期実績	2021年度		
		当初計画	修正計画	増減率 (対当初計画)
売上高	406	420	435	+3.6%
営業利益 (営業利益率)	24 (5.9%)	26 (6.2%)	32 (7.4%)	+23.1%

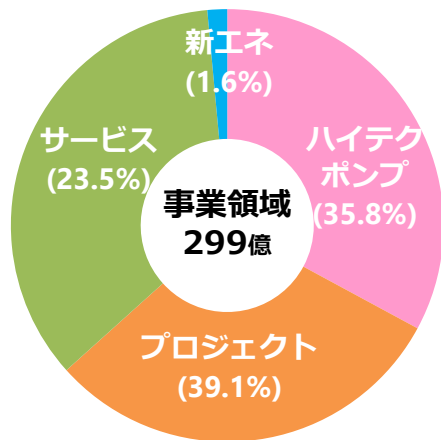
■子会社（連結－単体）

単位：億円

	2020年度 通期実績	2021年度		
		当初計画	修正計画	増減率 (対当初計画)
	102	100	105	+5.0%
	12 (11.8%)	10 (10.0%)	11 (10.5%)	+10.0%

參考資料

事業領域及び需要先 (2021年度第2四半期受注高実績 括弧内は構成比)



ハイクレポンプ

発電所や海水淡水化プラント、上下水道施設、かいがい施設など向けの大型ポンプ（エンジニアリングポンプ）及び一般産業向けのエコポンプ（小型標準ポンプ）。

プロジェクト

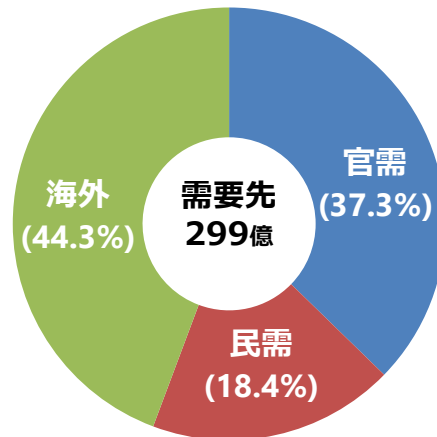
上下水道、かいがい、排水ポンプ場におけるポンプ設備全体のEPC（設計・調達・建設）案件。

サービス

既存ポンプ及びポンプ設備の取替え、保守点検、REDU（Re-Engineering & Design Up）、SV（スーパーバイザー）の派遣、部品交換など。

新エネルギー・環境

風力発電や小水力発電の導入における設計・施工・メンテナンス。
環境装置（農業集落排水向け真空式下水道収集システム）



官公需

日本国内の国及び地方公共団体向け。上下水道施設、排水施設及びかいがい施設など。

民需

日本国内の民間企業向け。火力発電所（事業用、バイオマス発電やごみ焼却発電、自家発電含む）、一般産業の各種工場、ビル設備、商業施設など。

海外

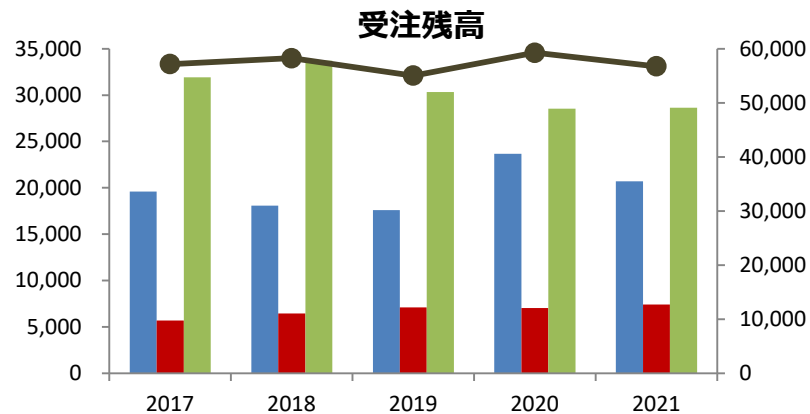
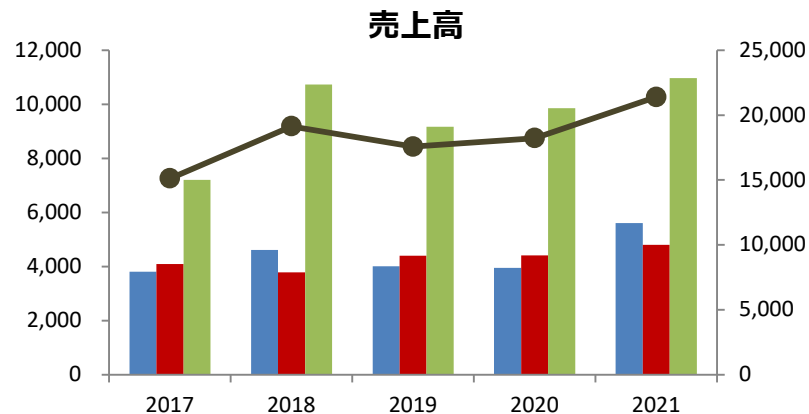
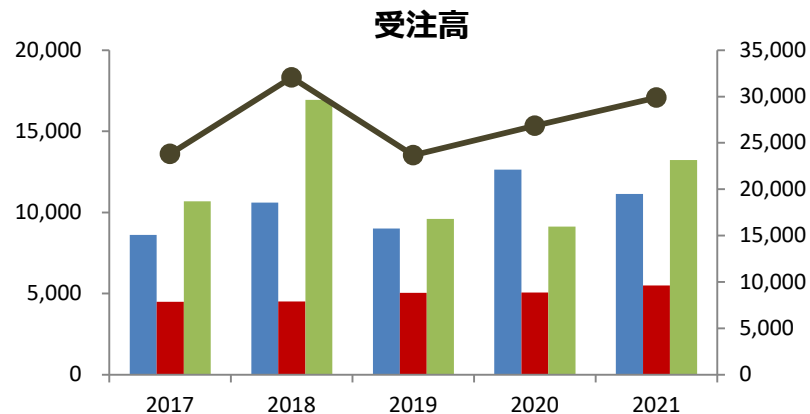
海外向け海水淡水化プラント、火力発電所、上下水道施設かいがい施設など。

需要先別受注高・売上高・受注残高

		2020年度2Q			2021年度2Q		
		受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
官 需		12,643	3,950	23,680	11,134	5,602	20,701
	前年増減率	40.4%	▲1.3%	34.6%	▲11.9%	—	—
民 需		5,058	4,413	7,044	5,503	4,808	7,419
	前年増減率	0.1%	0.3%	▲0.8%	8.8%	—	—
海 外		9,129	9,857	28,525	13,227	10,972	28,630
	前年増減率	▲5.0%	7.5%	▲6.0%	44.9%	—	—
合 計		26,832	18,221	59,251	29,866	21,383	56,752
	前年増減率	13.4%	3.7%	7.7%	11.3%	—	—

(注) 当第1四半期連結累計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。その影響により、前期末受注残を638百万円減少させて計算しております。また、当該基準等を適用する前の前第1四半期連結累計期間の売上高及び受注残高に対する増減額及び増減率は記載しておりません。

受注高・売上高・受注残高の推移（需要先別）



左軸

官需

民需

海外

右軸

合計額

単位：百万円

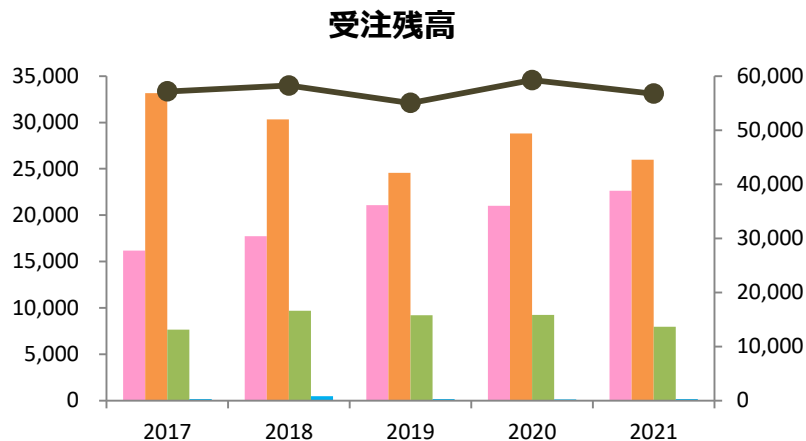
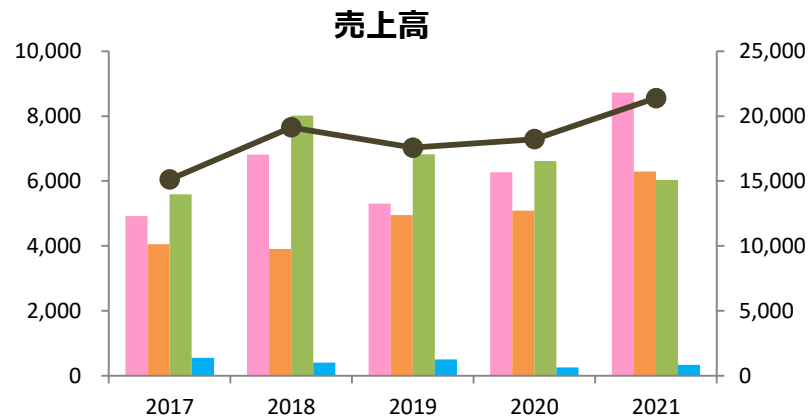
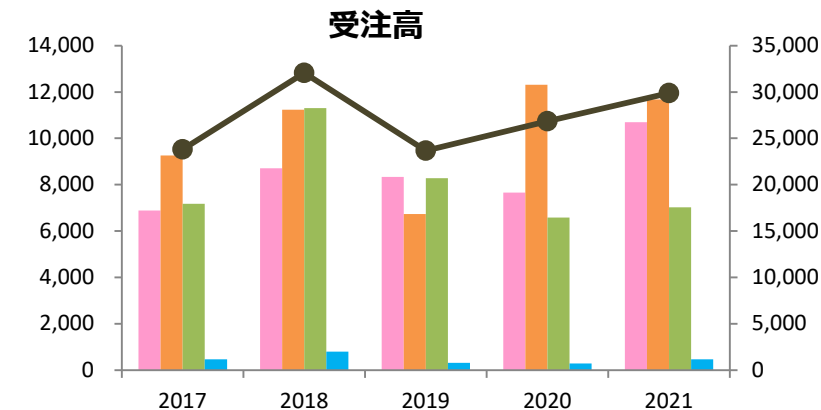
事業分野別受注高・売上高・受注残高

単位：百万円

		2020年度2Q			2021年度2Q		
		受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
ハイテクポンプ		7,654	6,269	21,027	10,702	8,726	22,637
	前年増減率	▲8.1%	18.2%	▲0.3%	39.8%	—	—
プロジェクト		12,305	5,086	28,816	11,673	6,290	25,974
	前年増減率	82.5%	2.7%	17.2%	▲5.1%	—	—
サービス		6,580	6,612	9,258	7,021	6,030	7,977
	前年増減率	▲20.5%	▲3.0%	0.6%	6.7%	—	—
新工ネ・環境		294	254	150	470	338	164
	前年増減率	▲5.8%	▲49.1%	▲3.8%	59.9%	—	—
合 計		26,832	18,221	59,251	29,866	21,383	56,752
	前年増減率	13.4%	3.7%	7.7%	11.3%	—	—

（注）当第1四半期連結累計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。その影響により、前期末受注残を638百万円減少させて計算しております。また、当該基準等を適用する前の前第1四半期連結累計期間の売上高及び受注残高に対する増減額及び増減率は記載しておりません。

事業分野別受注高・売上高・受注残高（百万円）



左軸

ハイテクポンプ

プロジェクト

サービス

新エネ

右軸

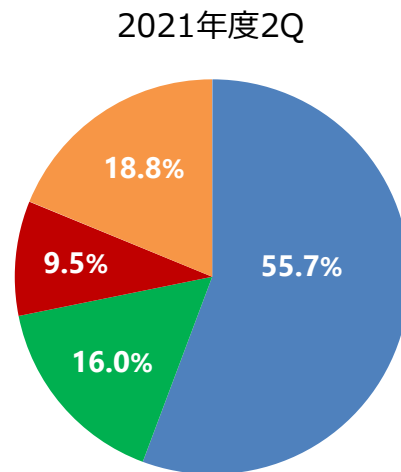
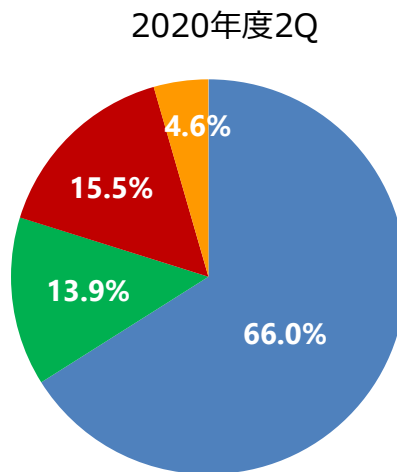
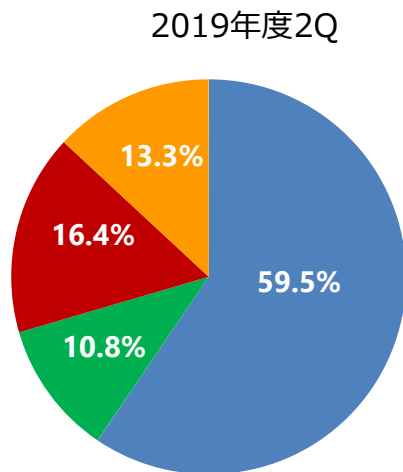
● 合計額

地域別受注高

単位：億円

	日本	海外全体	海外内訳			合計
			アジア	中東	その他	
2019年度 第2四半期	141 (59.5%)	96 (40.5%)	26 (10.8%)	39 (16.4%)	31 (13.3%)	237
2020年度 第2四半期	177 (66.0%)	91 (34.0%)	37 (13.9%)	42 (15.5%)	12 (4.6%)	268
2021年度 第2四半期	166 (55.7%)	132 (44.3%)	48 (16.0%)	28 (9.5%)	56 (18.8%)	298

■ 日本
■ アジア
■ 中東
■ その他

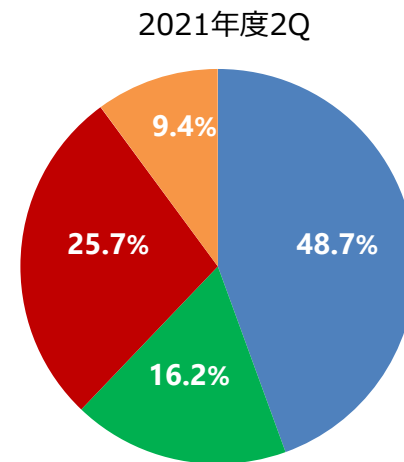
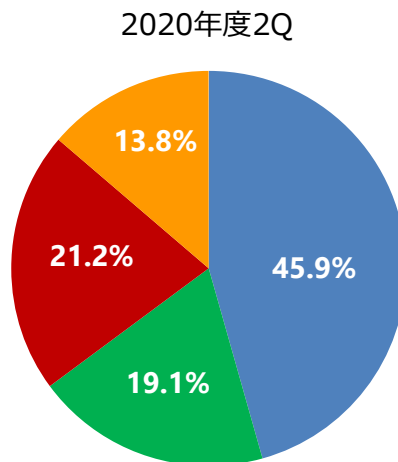
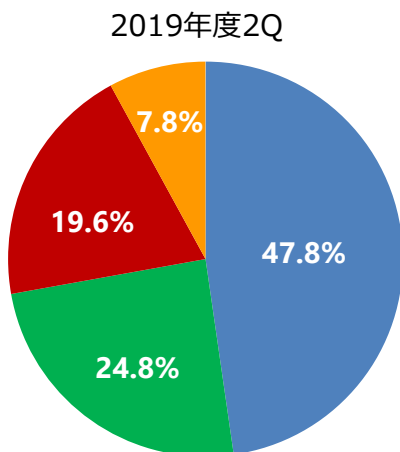


地域別売上高

単位：億円

	日本	海外全体	海外内訳			合計
			アジア	中東	その他	
2019年度 第2四半期	84 (47.8%)	92 (52.2%)	44 (24.8%)	34 (19.6%)	14 (7.8%)	176
2020年度 第2四半期	83 (45.9%)	99 (54.1%)	35 (19.1%)	39 (21.2%)	25 (13.8%)	182
2021年度 第2四半期	104 (48.7%)	110 (51.3%)	35 (16.2%)	55 (25.7%)	20 (9.4%)	214

■ 日本
■ アジア
■ 中東
■ その他



本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で
入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる
結果となる可能性があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社 西島製作所 総務部 I R広報グループ

Tel : 072-695-0551

Email : ir-torishima@torishima.co.jp